

東 海 大 学

＜神奈川県内大学院学術交流協定による履修可能科目一覧＞

- (1) 履修申請受付期間：2022年4月9日～4月16日
2022年9月上旬～10月上旬（予定）
- (2) 履修を希望する場合は、必ず事前に下記へお問い合わせください。
(当該学期における授業の開講有無等について確認をしてください)

〒259-1292

神奈川県平塚市北金目4丁目1番1号

東海大学 各カレッジオフィス

TEL. (代表) 0463-58-1211 (内線) 2434

各カレッジオフィスで担当する研究科につきましては、「カレッジ毎担当研究科一覧表」をご参照ください。

- (3) 本学ではセメスター制度を導入しており、授業科目はすべて学期完結（半年間）となります。
- (4) カリキュラムに示す各授業科目には、科目の性格、授業内容のレベルを表す「グレードナンバー」がつけられていますので、科目選択に役立ててください。

修士課程 博士課程前期	500	(大学院における基礎的科目)
	600	(高度専門職業関連科目・研究者養成科目)
	700	(修士論文に関する科目、特定課題についての研究等)
博士課程後期	800	(高度研究者養成科目)

- (5) 授業科目に線が引かれ、消してあるものは履修できません。
- (6) 履修可能科目であっても本学履修者がいない場合等の理由で履修できない場合があります。
- (7) 各授業科目のシラバスについては、以下のURLにアクセスしてください。

東海大学シラバス検索サイト <https://www.u-tokai.ac.jp/information/public-information/>

各研究科、専攻における受入れ可能人数 記入用紙

研究科名	専攻名	2022年度		備 考
		修士・博士課程前期	博士課程後期	
文学研究科	文明研究専攻	若干名	若干名	湘南校舎
	史学専攻	若干名	若干名	
	日本文学専攻	若干名	若干名	
	英文学専攻	4名	2名	
	コミュニケーション学専攻	若干名	若干名	
	観光学専攻	若干名		
政治学研究科	政治学専攻	若干名	若干名	
経済学研究科	応用経済学専攻	若干名	若干名	
法学研究科	法律学専攻	5名	3名	
人間環境学研究科	人間環境学専攻	若干名		
芸術学研究科	音響芸術専攻	2、3名		
	造型芸術専攻	2、3名		
体育学研究科	体育学専攻	若干名	若干名	
理学研究科	数理学専攻	若干名		
	物理学専攻	若干名		
	化学専攻	若干名		
工学研究科	電気電子工学専攻	若干名		伊勢原校舎
	応用理化学専攻	若干名		
	建築土木工学専攻	若干名		
	機械工学専攻	若干名		
	医用生体工学専攻	若干名		
海洋学研究科	海洋学専攻	若干名		清水校舎
健康科学研究科	看護学専攻	若干名		伊勢原校舎
	保健福祉学専攻	3名		

東海大学 各校舎所在地

湘南校舎 神奈川県平塚市北金目4丁目1番1号

- 小田急線東海大学前駅下車 徒歩約15分
- JR東海道線 平塚駅下車 東海大学行き、または秦野行きバス(約30分)にて東海大学正門前下車 徒歩約5分で南門に到着

清水校舎 静岡県静岡市清水区折戸3-20-1

- JR東海道線 清水駅下車 三保ランド行き、三保車庫行き
- または三保灯台行きバス(約20分)にて東海大学・海枝短大前下車 徒歩約2分

伊勢原校舎 神奈川県伊勢原市下糟屋143

- 小田急線伊勢原駅下車 東海大学病院行きバス、または愛甲石田駅行き(約10分)で東海大学病院下車

文 学 研 究 科

2022年度カリキュラム表

■文明研究専攻

(博士課程前期)

文明理論研究1－1および文明研究法A、B、C、Dを必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	グ ラ ン ド ー	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科 目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グ ラ ン ド ー	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科 目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
理論系科目	500	文明理論研究 1-1		○	2	1				ヨーロッパ地域研究	500	ヨーロッパ文明研究 1-1		×	2	1			
	500	文明理論研究 1-2		×	2			1			500	ヨーロッパ文明研究 1-2		×	2			1	
	500	文明理論研究 2-1		×	2	1					500	ヨーロッパ文明研究 2-1		×	2	1			
	500	文明理論研究 2-2		×	2			1			500	ヨーロッパ文明研究 2-2		×	2			1	
	600	文明理論演習 1-1		×	2	1					500	ヨーロッパ文明研究 3-1		×	2	1			
	600	文明理論演習 1-2		×	2			1			500	ヨーロッパ文明研究 3-2		×	2			1	
	600	文明理論演習 2-1		×	2	1					600	ヨーロッパ文明演習 1-1		×	2	1			
	600	文明理論演習 2-2		×	2			1			600	ヨーロッパ文明演習 1-2		×	2			1	
比較研究	500	比較文明学研究-1		×	2	1				600	ヨーロッパ文明演習 2-1		×	2	1				
	500	比較文明学研究-2		×	2			1		600	ヨーロッパ文明演習 2-2		×	2			1		
	600	比較文明学演習-1		×	2	1				600	ヨーロッパ文明演習 3-1		×	2	1				
	600	比較文明学演習-2		×	2			1		600	ヨーロッパ文明演習 3-2		×	2			1		
現代文明研究	500	現代文明論研究 1-1		×	2	1				日本地域研究	500	日本文明研究 1-1		×	2	1			
	500	現代文明論研究 1-2		×	2			1			500	日本文明研究 1-2		×	2			1	
	600	現代文明論演習 1-1		×	2	1					500	日本文明研究 2-1		×	2	1			
	600	現代文明論演習 1-2		×	2			1			500	日本文明研究 2-2		×	2			1	
科学・技術研究	500	科学論・技術論研究-1		×	2	1					500	日本文明研究 3-1		×	2	1			
	500	科学論・技術論研究-2		×	2			1			500	日本文明研究 3-2		×	2			1	
	600	科学論・技術論演習 1		×	2	1					600	日本文明演習 1-1		×	2	1			
	600	科学論・技術論演習 2		×	2			1			600	日本文明演習 1-2		×	2			1	
	600	科学史・技術史研究-1		×	2	1					600	日本文明演習 2-1		×	2	1			
	600	科学史・技術史研究-2		×	2			1			600	日本文明演習 2-2		×	2			1	
	600	科学史・技術史演習 1		×	2	1					600	日本文明演習 3-1		×	2	1			
	600	科学史・技術史演習 2		×	2			1			600	日本文明演習 3-2		×	2			1	
アジア地域研究	500	アジア文明研究 1-1		×	2	1				アメリカ地域研究	500	アメリカ文明研究 1-1		×	2	1			
	500	アジア文明研究 1-2		×	2			1			500	アメリカ文明研究 1-2		×	2			1	
	500	アジア文明研究 2-1		×	2	1					500	アメリカ文明研究 2-1		×	2	1			
	500	アジア文明研究 2-2		×	2			1			500	アメリカ文明研究 2-2		×	2			1	
	500	アジア文明研究 3-1		×	2	1					500	アメリカ文明研究 3-1		×	2	1			
	500	アジア文明研究 3-2		×	2			1			500	アメリカ文明研究 3-2		×	2			1	
	600	アジア文明演習 1-1		×	2	1					600	アメリカ文明演習 1-1		×	2	1			
	600	アジア文明演習 1-2		×	2			1			600	アメリカ文明演習 1-2		×	2			1	
	600	アジア文明演習 2-1		×	2	1					600	アメリカ文明演習 2-1		×	2	1			
	600	アジア文明演習 2-2		×	2			1			600	アメリカ文明演習 2-2		×	2			1	
	600	アジア文明演習 3-1		×	2	1					600	アメリカ文明演習 3-1		×	2	1			
	600	アジア文明演習 3-2		×	2			1			600	アメリカ文明演習 3-2		×	2			1	
ゼミナール科目										700	文明研究法 A		○	1	1				
										700	文明研究法 B		○	1			1		
										700	文明研究法 C		○	1	1				
										700	文明研究法 D		○	1			1		

文明研究法 2－1、2－2 を必修とし、併せて40単位以上を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

2022年度カリキュラム表

■ 史学専攻

(博士課程前期)

史学理論研究1、2、および史学研究法A、B、C、Dを必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	グラ レン バ ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グラ レン バ ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
史学概論	300	史学理論研究 1		○	2	1				西洋史講義	600	西洋史学特殊研究 A-1		×	2	1			
	300	史学理論研究 2		○	2			1			600	西洋史学特殊研究 A-2		×	2			1	
日本史講義											600	西洋史学特殊研究 B-1		×	2	1			
	600	日本史学特殊研究 A-1		×	2	1					600	西洋史学特殊研究 B-2		×	2			1	
	600	日本史学特殊研究 A-2		×	2			1			600	西洋史学特殊研究 C-1		×	2	1			
	600	日本史学特殊研究 B-1		×	2	1					600	西洋史学特殊研究 C-2		×	2			1	
	600	日本史学特殊研究 B-2		×	2			1		600	西洋史学特殊研究 D-1		×	2	1				
	600	日本史学特殊研究 C-1		×	2	1				600	西洋史学特殊研究 D-2		×	2			1		
	600	日本史学特殊研究 C-2		×	2			1		西洋史原書講読	600	西洋史学文献研究 A-1		×	2	1			
	600	日本史学特殊研究 D-1		×	2	1					600	西洋史学文献研究 A-2		×	2			1	
	600	日本史学特殊研究 D-2		×	2			1			600	西洋史学文献研究 B-1		×	2	1			
	600	日本史学特殊研究 E-1		×	2	1					600	西洋史学文献研究 B-2		×	2			1	
600	日本史学特殊研究 E-2		×	2			1		600		西洋史学文献研究 C-1		×	2	1				
									600		西洋史学文献研究 C-2		×	2			1		
日本史原書講読	600	日本史学文献研究 A-1		×	2	1				考古学講義	600	考古学特殊研究 A-1		×	2	1			
	600	日本史学文献研究 A-2		×	2			1			600	考古学特殊研究 A-2		×	2			1	
	600	日本史学文献研究 B-1		×	2	1					600	考古学特殊研究 B-1		×	2	1			
	600	日本史学文献研究 B-2		×	2			1			600	考古学特殊研究 B-2		×	2			1	
	600	日本史学文献研究 C-1		×	2	1					600	考古学特殊研究 C-1		×	2	1			
	600	日本史学文献研究 C-2		×	2			1			600	考古学特殊研究 C-2		×	2			1	
	600	日本史学文献研究 D-1		×	2	1				600	考古学特殊研究 D-1		×	2	1				
	600	日本史学文献研究 D-2		×	2			1		600	考古学特殊研究 D-2		×	2			1		
	600	日本史学文献研究 E-1		×	2	1				考古学演習	600	考古学研究 (演習) A-1		×	2	1			
	600	日本史学文献研究 E-2		×	2			1			600	考古学研究 (演習) A-2		×	2			1	
600	東洋史学特殊研究 A-1		×	2	1				600		考古学研究 (演習) B-1		×	2	1				
600	東洋史学特殊研究 A-2		×	2			1		600		考古学研究 (演習) B-2		×	2			1		
600	東洋史学特殊研究 B-1		×	2	1				600		考古学研究 (演習) C-1		×	2	1				
600	東洋史学特殊研究 B-2		×	2			1		600		考古学研究 (演習) C-2		×	2			1		
東洋史講義	600	東洋史学特殊研究 C-1		×	2	1				考古学演習	600	考古学研究 (演習) D-1		×	2	1			
	600	東洋史学特殊研究 C-2		×	2			1			600	考古学研究 (演習) D-2		×	2			1	
	600	東洋史学特殊研究 D-1		×	2	1					修士論文指導	700	史学研究法 A		○	1	1		
	600	東洋史学特殊研究 D-2		×	2			1				700	史学研究法 B		○	1			1
	600	東洋史学文献研究 A-1		×	2	1					700	史学研究法 C		○	1	1			
	600	東洋史学文献研究 A-2		×	2			1			700	史学研究法 D		○	1			1	
	600	東洋史学文献研究 B-1		×	2	1													
	600	東洋史学文献研究 B-2		×	2			1											
600	東洋史学文献研究 C-1		×	2	1														
600	東洋史学文献研究 C-2		×	2			1												
600	東洋史学文献研究 D-1		×	2	1														
600	東洋史学文献研究 D-2		×	2			1												

史学研究法 2-1、2-2 を必修とし、併せて40単位以上を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

2022年度カリキュラム表

■日本文学専攻

(博士課程前期)

(日本文学研究コース)

演習4単位および日本文学研究法A、B、C、Dを必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。ただし、日本語教育学コースの科目について、8単位を限度として本コースにおける修了要件の単位として認める。

分野・領域	グラ レン バ ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定 がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グラ レン バ ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定 がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中	
基礎演習科目	500	日本文学演習 1		×	2	1				日本 語学 講義 科目	600	日本語学特殊講義A-1		×	2	1				
	500	日本文学演習 2		×	2			1			600	日本語学特殊講義A-2		×	2			1		
	500	日本語学特殊演習-1		×	2	1					600	日本語学特殊講義D-1		×	2	1				
	500	日本語学特殊演習-2		×	2			1			600	日本語学特殊講義B-2		×	2			1		
古典文学講義科目	600	上代文学特殊講義A-1		×	2	1				漢文 学講 義科 目	600	日本語学特殊講義C-1		×	2	1				
	600	上代文学特殊講義A-2		×	2			1			600	日本語学特殊講義C-2		×	2			1		
	600	上代文学特殊講義B-1		×	2	1					600	漢文学特殊講義A-1		×	2	1				
	600	上代文学特殊講義B-2		×	2			1			600	漢文学特殊講義A-2		×	2			1		
	600	上代文学特殊講義C-1		×	2	1				漢文 学講 義科 目	600	漢文学特殊講義D-1		×	2	1				
	600	上代文学特殊講義C-2		×	2			1			600	漢文学特殊講義D-2		×	2			1		
	600	中古文学特殊講義A-1		×	2	1					古 典 文 学 研 究 科 目	500	上代文学文献研究1-1		×	2	1			
	600	中古文学特殊講義A-2		×	2			1				300	上代文学文献研究1-2		×	2			1	
	600	中古文学特殊講義B-1		×	2	1				500		中古文学文献研究1-1		×	2	1				
	600	中古文学特殊講義B-2		×	2			1		500		中古文学文献研究1-2		×	2			1		
	600	中古文学特殊講義C-1		×	2	1				500		中世文学文献研究1-1		×	2	1				
	600	中古文学特殊講義C-2		×	2			1		300		中世文学文献研究1-2		×	2			1		
	600	中世文学特殊講義A-1		×	2	1				300		近世文学文献研究1-1		×	2	1				
	600	中世文学特殊講義A-2		×	2			1		500		近世文学文献研究1-2		×	2			1		
	600	中世文学特殊講義B-1		×	2	1				近 代 文 学 研 究 科 目	500	近代文学文献研究1-1		×	2	1				
	600	中世文学特殊講義B-2		×	2			1			300	近代文学文献研究1-2		×	2			1		
	600	中世文学特殊講義C-1		×	2	1					日 本 語 学 研 究 科 目	500	日本語学文献研究1-1		×	2	1			
	600	中世文学特殊講義C-2		×	2			1				500	日本語学文献研究1-2		×	2			1	
	600	近世文学特殊講義A-1		×	2	1				論 文 指 導 科 目		700	日本文学研究法A		×	1	1			
	600	近世文学特殊講義A-2		×	2			1				700	日本文学研究法B		×	1			1	
	600	近世文学特殊講義B-1		×	2	1					700	日本文学研究法C		×	1	1				
	600	近世文学特殊講義B-2		×	2			1			700	日本文学研究法D		×	1			1		
	近代文学講義科目	600	近代文学特殊講義A-1		×	2	1													
		600	近代文学特殊講義A-2		×	2			1											
		600	近代文学特殊講義B-1		×	2	1													
		600	近代文学特殊講義B-2		×	2			1											
		600	近代文学特殊講義C-1		×	2	1													
		600	近代文学特殊講義C-2		×	2			1											

(日本語教育学コース) 日本語教育学研究法A、B、C、Dおよび日本語教授法研究1-1・1-2・2-1・2-2の4科目、日本語教授法演習-1・2を必修とし、日本語学1-1・1-2・2-1・2-2・3-1・3-2のうち4科目、かつ特論を3科目以上選択し、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。ただし、日本文学研究コースの科目について、8単位を限度として本コースにおける修了要件の単位として認める。

分野・領域	グナ レンバ ド1	授 業 科 目	受入れ可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グナ レンバ ド1	授 業 科 目	受入れ可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
日本語学の基礎	500	日本語学1－1	若干名	×	2	1				言語と社会	600	国際関係特論－1		×	2	1			
	500	日本語学1－2	若干名	×	2			1			600	国際関係特論－2		×	2			1	
	500	日本語学2－1	若干名	×	2	1													
	500	日本語学2－2	若干名	×	2			1											
	500	日本語学3－1	若干名	×	2	1													
	500	日本語学3－2	若干名	×	2			1											
日本語教育学の基礎	500	日本語教授法研究1－1	若干名	×	2	1				応用研究	600	社会言語学特論	若干名	×	2	1		1	
	500	日本語教授法研究1－2	若干名	×	2			1			600	日本語研究特論－1	若干名	×	2	1			
	500	日本語教授法研究2－1	若干名	×	2	1			600		日本語研究特論－2	若干名	×	2			1		
	500	日本語教授法研究2－2	若干名	×	2			1		600	日本語教育研究特論		×	2			1		
	500	日本語教授法研究2－2	若干名	×	2			1		700	日本語教育学研究法A		×	1	1				
	500	日本語教授法研究2－2	若干名	×	2			1		700	日本語教育学研究法B		×	1			1		
	600	日本語教授法演習－1	若干名	×	2	1				700	日本語教育学研究法C		×	1	1				
	600	日本語教授法演習－2	若干名	×	2			1		700	日本語教育学研究法D		×	1			1		

2022年度カリキュラム表

■ 日本文学専攻

(博士課程後期)

日本文学研究法 2-1、2-2 を必修とし、博士課程前期の単位と併せて40単位以上を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

2022年度カリキュラム表

■ 英文学専攻

(博士課程前期)

演習科目 8 単位、英文学研究法 A、B、C、D の 4 単位合計 12 単位を必修とし、併せて 30 単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

2022年度カリキュラム表

■ コミュニケーション学専攻

(博士課程前期)

コミュニケーション研究法A、B、C、Dを必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文またはこれに代わる特定の課題についての研究成果を指導教員を通じて研究科長に提出し、その審査あるいは最終試験に合格すること。

ただし、臨床心理学系基幹科目の全て、ならびに臨床心理学系専門科目のうち「投影法特論」、「学校臨床心理学特論」、「グループ・アプローチ特論」、「臨床心理地域支援実習1」、「臨床心理地域支援実習2」については、臨床心理学系を専攻する学生のみが履修できるものとする。

臨床心理学系を専攻する学生で臨床心理士志望者は、資格審査規定にしたがって以下の通り履修すること。臨床心理学系基幹科目のすべて、臨床心理学系専門科目のうち臨床心理士受験資格に必要な選択必修科目群A群に属する「心理統計法特論」「心理学研究法特論」から1科目以上、B群に属する「人格心理学特論」「発達心理学特論」「教育心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）」から1科目以上、C群に属する「社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）」、「家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）」、「犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）」から1科目以上、D群に属する「精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）」、「心身医学特論」、「神経心理学特論」、「障害児者心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）」から1科目以上、E群に属する「投影法特論」、「学校臨床心理学特論」、「グループ・アプローチ特論」、「臨床心理地域支援実習1」「臨床心理地域支援実習2」から1科目以上履修すること。

臨床心理学系を専攻する学生で公認心理師志望者は、公認心理師となるために必要な科目として、「精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）」、「障害児者心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）」、「教育心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）」、「犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）」、「社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）」、「臨床心理査定演習1（心理的アセスメントに関する理論と実践）」、「臨床心理面接特論（心理支援に関する理論と実践）」、「家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）」、「心の健康教育に関する理論と実践」、「心理実践実習」を履修すること。

分野・領域	グラ レン バ ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定 がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グラ レン バ ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
ゼミナール科目	700	コミュニケーション研究法A		○	1	1				臨床心理学系専門科目	600	心理統計法特論		×	2			1	
	700	コミュニケーション研究法B		○	1			1			600	心理学研究法特論		×	2	1			
	700	コミュニケーション研究法C		○	1	1					600	教育心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）		×	2			1	
	700	コミュニケーション研究法D		○	1			1											
系共通	600	コミュニケーション論特殊研究A		×	4	2				臨床心理学系専門科目	600	発達心理学特論		×	2	1			
	600	コミュニケーション論特殊研究B		×	4	2					600	人格心理学特論		×	2	1			
	600	コミュニケーション論特殊研究C		×	4	2					600	神経心理学特論		×	2	1			
	600	コミュニケーション論特殊研究D		×	4	2					600	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）		×	2			1	
	600	コミュニケーション論特殊研究E		×	4	2					600	社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）		×	2			1	
	600	コミュニケーション論特殊研究F		×	4	2					600	心身医学特論		×	2	1			
	600	コミュニケーション論研究演習A		×	4	2					600	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）		×	2			1	
	600	コミュニケーション論研究演習B		×	4	2					600	障害児者心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）		×	2			1	
	600	コミュニケーション論研究演習C		×	4	2					600	投影法特論		×	2	1			
	600	コミュニケーション論研究演習D		×	4	2					600	グループ・アプローチ特論		×	2	1			
メディア学系	600	広報媒体論特殊講義1		×	4	2				臨床心理学系専門科目	600	コミュニケーション・アプローチ特論		×	2			1	
	600	広報媒体論特殊講義2		×	4	2					600	学校臨床心理学特論		×	2			1	
	600	広告論特殊講義1		×	4			2			600	犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）		×	2	1			
	600	広告論特殊講義2		×	4			2			600	臨床心理地域支援実習1		×	2	2			
	600	国際コミュニケーション論特殊講義1		×	4			2			600	臨床心理地域支援実習2		×	2			2	
	600	国際コミュニケーション論特殊講義2		×	4			2			600	心の健康教育に関する理論と実践		×	2	1			
	600	マスコミュニケーション論研究演習1		×	4			2											
社会学系	600	マスコミュニケーション論研究演習2		×	4			2		社会学系	600	社会学研究演習1		×	4	2			
	600	社会変動論特殊講義1		×	4	2					600	社会学研究演習2		×	4			2	
	600	社会変動論特殊講義2		×	4			2			600	社会心理学特殊講義A		×	2	1			
	600	政治コミュニケーション論特殊講義1		×	4	2					600	社会心理学特殊講義B		×	2		1		
	600	政治コミュニケーション論特殊講義2		×	4			2			600	社会心理学研究演習A		×	2	1			
	600	社会学研究演習1		×	4	2					600	社会心理学研究演習B		×	2		1		
	600	社会学研究演習2		×	4			2											
	600	社会心理学特殊講義A		×	2	1													
	600	社会心理学特殊講義B		×	2			1											
	600	社会心理学研究演習A		×	2	1													
	600	社会心理学研究演習B		×	2			1											

(博士課程前期)

分野・領域	グラ ン ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
臨 床 心 理 学 系 基 幹 科 目	500	臨床心理学特論 1		×	2	1			
	500	臨床心理学特論 2		×	2			1	
	500	臨床心理面接特論 1 (心理支援に 関する理論と実践)		×	2	1			
	500	臨床心理面接特論 2		×	2			1	
	500	臨床心理実定演習 1 (心理的ア セスメントに関する理論と実践)		×	2	1			
	500	臨床心理実定演習 2		×	2			1	
	500	臨床心理基礎実習 1		×	2	2			
	500	臨床心理基礎実習 2		×	2			2	
	500	心理実践実習		×	10		集中		
	500	臨床心理実習 1		×	2	2			
500	臨床心理実習 2		×	2			2		

(博士課程後期)

コミュニケーション研究法2-1、2-2を必修（1年次）とし、博士課程前期の単位と併せて40単位以上を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

2022年度カリキュラム表

■ 観光学専攻

(修士課程)

観光学研究法A、B、C、Dを必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

政 治 学 研 究 科

2022年度カリキュラム表

■ 政治学専攻

(博士課程前期)

研究指導教員が担当する専門分野の「研究講義1・2」と「研究演習1・2・3・4」、並びに「英書政治学研究1・2」という必修科目10単位に加えて、研究指導教員以外の教員が担当する講義科目を22単位、合計32単位以上を修得し（コースを横断して履修することも可能）、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

(博士課程後期)

[illegible]

經 濟 學 研 究 科

■ 応用経済学専攻

(博士課程前期)

基本研究分野が経済学コースの学生は、「経済学基礎研究A」および「経済学基礎研究B」を必修とし、経営学コースの学生は、「経営学基礎研究A」および「経営学基礎研究B」を必修とする。さらに、コースにかかわらず、全学生が「研究方法基礎論A（論文）」および「研究方法基礎論B（実証）」を必ず履修しなければならない。これらの必修科目に加えて、各自が専攻する専門科目2科目を1年次に、また「応用経済学演習」2科目を2年次に履修しなければならない。

本研究科での学位を取得するには、上記の必修科目とその他の選択科目を含めて、合わせて30単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。

[illegible]

(博士課程後期)

全ての博士課程後期の学生は、基本研究分野のコースに関わらず各自が「先端研究」の2科目を1年次に履修し、「応用経済学先端演習1」を2年次に、「応用経済学先端演習2」を3年次にそれぞれ2科目ずつ必ず履修しなければならない。本研究科で博士の学位を取得するには、その他の科目と合わせて、48単位以上を修得し、博士論文審査ならびに最終試験に合格しなければならない。ただし、本専攻の博士課程前期修了者にあつては、当該課程において修得した単位のうち、博士課程後期における研究に必要と認められたものにつき、30単位までを上記の必要単位数（48単位以上）に含めることができる。

分野・領域	グナ レン バ ド	授 業 科 目	受け入れ 可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グナ レン バ ド	授 業 科 目	受け入れ 可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
理 論 系 科 目	800	経済理論先端研究1		×	2	1				経 営 シ ス テ ム	800	経営システム先端研究 1		×	2	1			
	800	経済理論先端研究2		×	2			1			800	経営システム先端研究 2		×	2			1	
	800	経営理論先端研究1		×	2	1													
	800	経営理論先端研究 2		×	2			1											
情 報 関 連 分 野	800	経済・経営情報先端研究 1		×	2	1				現 代 企 業 論	800	現代企業先端研究 1		×	2	1			
	800	経済・経営情報先端研究 2		×	2			1			800	現代企業先端研究2		×	2			1	
経 済 政 策	800	経済政策先端研究 1		×	2	1				財 務 ・ 会 計	800	会計・財務先端研究 1		×	2	1			
	800	経済政策先端研究 2		×	2			1			800	会計・財務先端研究 2		×	2			1	
経 済 シ ス テ ム	800	経済システム先端研究 1		×	2	1				国 際 関 連 分 野	800	国際経済・経営先端研究 1		×	2	1			
	800	経済システム先端研究 2		×	2			1			800	国際経済・経営先端研究 2		×	2			1	
経 済 理 論 応 用 分 野	800	応用経済学先端研究 1		×	2	1				演 習	800	応用経済学先端演習 1 (1)―		○	2	1			
	800	応用経済学先端研究 2		×	2			1			800	応用経済学先端演習 1 (2)―		○	2			1	
											800	応用経済学先端演習 2 (1)―		○	2	1			
											800	応用経済学先端演習 2 (2)―		○	2			1	

法 学 研 究 科

2022年度カリキュラム表

■ 法学専攻

(博士課程前期)

研究指導教員の担当する法学演習 1～4 (計 8 単位) を必修として修得するほか、開講科目から 24 単位以上 (総計 32 単位) を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。なお、研究指導教員の指導と研究科長の承認を得たうえで、法学部開講の法学に関する専門科目の中から選択履修することもできる (最大 10 単位まで)。

分野・領域	グナ レ ン バ ー	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定 がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1 週当りのコマ数)				分野・領域	グナ レ ン バ ー	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定 がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1 週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
基礎科目	500	法学特殊講義 1		×	2	1					500	知的財産権法第一特講 1		×	2	1			
	500	法学特殊講義 2		×	2			1			500	知的財産権法第二特講 2		×	2			1	
基礎法学	500	基礎法学第一特講 1		×	2	1				社会法学	500	知的財産権法第一特講 1		×	2	1			
	500	基礎法学第一特講 2		×	2			1			500	知的財産権法第二特講 1		×	2	1		1	
	500	基礎法学第二特講 1		×	2	1					500	知的財産権法第二特講 2		×	2			1	
	500	基礎法学第二特講 2		×	2			1			500	社会法第一特講 1		×	2	1			
											500	社会法第一特講 2		×	2			1	
公法学	500	憲法第一特講 1		×	2	1				国際法学	500	社会法第二特講 1		×	2	1			
	500	憲法第一特講 2		×	2			1			500	社会法第二特講 2		×	2			1	
	500	憲法第二特講 1		×	2	1					500	医事法特講 1		×	2	1			
	500	憲法第二特講 2		×	2			1			500	医事法特講 2		×	2			1	
	500	行政法第一特講 1		×	2	1				外国法分野	500	国際法第一特講 1		×	2	1			
	500	行政法第一特講 2		×	2			1			500	国際法第一特講 2		×	2			1	
	500	行政法第二特講 1		×	2	1					500	国際法第二特講 1		×	2	1			
	500	行政法第二特講 2		×	2			1			500	国際法第二特講 2		×	2			1	
	500	税法第一特講 1		×	2	1				演習科目	500	外国法特講 1		×	2	1			
	500	税法第一特講 2		×	2			1			500	外国法特講 2		×	2			1	
	500	税法第二特講 1		×	2	1					600	法学演習 1 A		×	2	1			
	500	税法第二特講 2		×	2			1			600	法学演習 1 B		×	2	1			
	500	税法第三特講 2		×	2			1		ゼミナール科目	600	法学演習 2 A		×	2			1	
刑事法学	500	刑事法第一特講 1		×	2	1					600	法学演習 2 B		×	2			1	
	500	刑事法第一特講 2		×	2			1			700	法学演習 3		○	2	1			
	500	刑事法第二特講 1		×	2	1					700	法学演習 4		○	2			1	
	500	刑事法第二特講 2		×	2			1											
	500	刑事法第三特講 1		×	2	1													
	500	刑事法第三特講 2		×	2			1											
										民事法学	500	民法第一特講 1		×	2	1			
民事法学	500	民法第一特講 2		×	2			1			500	民法第一特講 2		×	2			1	
	500	民法第二特講 1		×	2	1					500	民法第二特講 1		×	2	1			
	500	民法第二特講 2		×	2			1			500	民法第二特講 2		×	2			1	
	500	民法第三特講 1		×	2	1					500	民法第三特講 1		×	2	1			
	500	民法第三特講 2		×	2			1			500	民法第三特講 2		×	2			1	
	500	商法第一特講 1		×	2	1					500	商法第一特講 1		×	2	1			
	500	商法第一特講 2		×	2			1			500	商法第一特講 2		×	2			1	
	500	商法第二特講 1		×	2	1					500	商法第二特講 1		×	2	1			
	500	商法第二特講 2		×	2			1			500	商法第二特講 2		×	2			1	
	500	民事訴訟法第一特講 1		×	2	1					500	民事訴訟法第一特講 1		×	2	1			
	500	民事訴訟法第一特講 2		×	2			1			500	民事訴訟法第一特講 2		×	2			1	
	500	民事訴訟法第二特講 1		×	2	1					500	民事訴訟法第二特講 1		×	2	1			
	500	民事訴訟法第二特講 2		×	2			1			500	民事訴訟法第二特講 2		×	2			1	

2022年度カリキュラム表

■ 法学専攻

(博士課程後期)

研究指導教員の担当する法学研究演習3～6（計8単位）を必修として修得するほか、開講科目から40単位以上（総計48単位）を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。ただし、博士課程前期修了者にあつては当該課程において修得した単位のうち、博士課程後期における研究に必要と認められたものについて、32単位までを上記必修修得単位に含めることができる。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
法 哲 学		800 法哲学特殊研究1		×	2	1				商 法 学	800	商法第一特殊研究1		×	2	1			
		800 法哲学特殊研究2		×	2			1				商法第一特殊研究2		×	2			1	
憲 法 学		800 憲法第一特殊研究1		×	2	1				知 的 財 産 権 法 学	800	商法第二特殊研究1		×	2	1			
		800 憲法第一特殊研究2		×	2			1				商法第二特殊研究2		×	2			1	
		800 憲法第二特殊研究1		×	2	1						知的財産権法特殊研究1		×	2	1			
		800 憲法第二特殊研究2		×	2			1				知的財産権法特殊研究2		×	2			1	
行 政 法 学		800 行政法特殊研究1		×	2	1				労 働 法 学	800	労働法特殊研究1		×	2	1			
		800 行政法特殊研究2		×	2			1				労働法特殊研究2		×	2			1	
租 税 法 学		800 税法特殊研究1		×	2	1				国 際 法 学	800	国際法第一特殊研究1		×	2	1			
		800 税法特殊研究2		×	2			1				800 国際法第一特殊研究2		×	2			1	
刑 事 法 学		800 刑法第一特殊研究1		×	2	1				法 社 会 学	800	国際法第二特殊研究1		×	2	1			
		800 刑法第一特殊研究2		×	2			1				国際法第二特殊研究2		×	2			1	
		800 刑法第二特殊研究1		×	2	1						800 法社会学特殊研究1		×	2	1			
		800 刑法第二特殊研究2		×	2			1				800 法社会学特殊研究2		×	2			1	
		800 刑法第三特殊研究1		×	2	1						800 法学研究演習1A		×	2	1			
		800 刑法第三特殊研究2		×	2			1				800 法学研究演習1B		×	2	1			
民 法 学		800 民法特殊研究1		×	2	1				演 習 科 目	800	800 法学研究演習2A		×	2			1	
		800 民法特殊研究2		×	2			1				800 法学研究演習2B		×	2			1	
民 事 訴 訟 法 学		800 民事訴訟法第一特殊研究1		×	2	1				ゼ ミ ナ ー ル 科 目	800	法学研究演習3		○	2	1			
		800 民事訴訟法第一特殊研究2		×	2			1				法学研究演習4		○	2			1	
		800 民事訴訟法第二特殊研究1		×	2	1						法学研究演習5		○	2	1			
		800 民事訴訟法第二特殊研究2		×	2			1				法学研究演習6		○	2			1	

人 間 環 境 学 研 究 科

2022年度カリキュラム表

■ 人間環境学専攻

(修士課程)

以下の3つの要件を満たすこと。

①研究科選択科目は、理論系および実践系科目のそれぞれについて、2分野以上から修得すること。

②理論系選択科目は10単位以上、実践系選択科目は10単位以上修得すること。

③必修科目と選択科目を併せて32単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

芸 術 学 研 究 科

2022年度カリキュラム表

■ 音響芸術専攻 (修士課程)

必修・選択科目を通じて30単位以上（必修14単位、選択16単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該研究科が行う〔修士論文またはこれに代わる特定の課題についての研究成果〕の審査と最終試験に合格すること。なお必修科目は、音楽研究 1～4、音楽研究演習 1～4 および芸術学総合研究である。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
音 楽 学 研 究	700	音楽研究 1		○	2	1		1	
	700	音楽研究 2		○	2	1		1	
	700	音楽研究 3		○	2	1		1	
	700	音楽研究 4		○	2	1		1	
	700	音楽研究演習 1		○	1	1		1	
	700	音楽研究演習 2		○	1	1		1	
	700	音楽研究演習 3		○	1	1		1	
	700	音楽研究演習 4		○	1	1		1	
	600	芸術学総合研究		○	2	1			
音 楽 学	500	西洋音楽史特講		×	2	1			
	500	音楽資料論特講		×	2			1	
	500	日本音楽史特講		×	2	1			
	500	日本芸能論特講		×	2			1	
	500	実験美学特講		×	2	1			
	500	音楽美学特講		×	2			1	
	500	世界音楽論特講		×	2	1			
	500	舞踊学特講		×	2			1	
応 用 音 楽 学	500	音楽療法治療構造論特講		×	2				
	500	音楽療法治療構造論特講		×	2			1	
	600	劇場学特講		×	2	1			
	500	詩と音楽の理論特講		×	2			1	
	500	演奏表現法特講		×	2	1			
	600	楽曲分析特講		×	2			1	
	600	古楽研究特講		×	2	1			
	500	演奏法 1		×	1	1		1	
	500	演奏法 2		×	1	1		1	
	500	演奏法 3		×	1	1		1	
演 奏 ・ 創 作	500	演奏法 4		×	1	1		1	
	500	演奏法 4		×	1	1		1	

2022年度カリキュラム表

■ 造型芸術専攻

(修士課程)

必修・選択科目を通じて30単位以上(必修:14単位、選択:16単位)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該研究科が行う「修士論文またはこれに代わる特定の課題についての研究成果」の審査と最終試験に合格すること。

「美術学を選択する学生の修了要件」

美術学を選択する学生は、「美術学研究1～4」、「美術学研究演習1～4」、および「芸術学総合研究」を必修とする。

「デザイン学を選択する学生の修了要件」

デザイン学を選択する学生は、「デザイン学研究1～4」、「デザイン学研究演習1～4」、および「芸術学総合研究」を必修とする。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ 可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
美術学研究	700	美術学研究1		×	2	1				美術・デザイン 共通科目	600	造形芸術特講(絵画系A)		×	2	1			
	700	美術学研究2		×	2				1		600	造形芸術特講(絵画系B)		×	2			1	
	700	美術学研究3		×	2	1					600	造形芸術特講(彫刻系)		×	2			1	
	700	美術学研究4		×	2				1		600	造形芸術特講(美術史系)		×	2			1	
	700	美術学研究演習1		×	1	1					600	造形芸術特講(現代美術系)		×	2	1			
	700	美術学研究演習2		×	1				1		600	造形芸術特講(画像系)		×	2	1			
	700	美術学研究演習3		×	1	1					600	造形芸術特講(情報系)		×	2	1			
	700	美術学研究演習4		×	1				1		600	造形芸術特講(製品系)		×	2			1	
デザイン学研究	700	デザイン学研究1		×	2	1					600	造形芸術特講(環境系)		×	2	1			
	700	デザイン学研究2		×	2				1		600	造形芸術特講(社会系)		×	2			1	
	700	デザイン学研究3		×	2	1					500	造形芸術理論特講(美学・哲学系)		×	2			1	
	700	デザイン学研究4		×	2				1		500	造形芸術理論特講(材料系)		×	2			1	
	700	デザイン学研究演習1		×	1	1					500	造形芸術理論特講(美術史系A)		×	2	1			
	700	デザイン学研究演習2		×	1				1		500	造形芸術理論特講(美術史系B)		×	2			1	
	700	デザイン学研究演習3		×	1	1					500	造形芸術理論特講(工芸系)		×	2	1			
	700	デザイン学研究演習4		×	1				1		500	造形芸術理論特講(現代芸術系)		×	2	1			
共通	600	芸術学総合研究		○	2	1					500	造形芸術理論特講(国際系)		×	2	1			
											500	造形芸術理論特講(情報系)		×	2			1	
											500	造形芸術理論特講(視覚表現系)		×	2			1	
											500	造形芸術理論特講(色彩系)		×	2	1			
											500	造形芸術理論特講(図像系)		×	2			1	
											500	造形芸術理論特講(アートマネジメント系)		×	2	1			
											500	造形芸術理論特講(メディアアート系)		×	2			1	
											500	造形芸術理論特講(社会系)		×	2	1			

体 育 学 研 究 科

■ 体育学専攻（22カリ～）
（博士課程前期）

分野・領域	ナンバード	授 業 科 目	受入れ 可能人数	必 選	単位 数	開講期間 （1週当りのコマ数）				分野・領域	ナンバード	授 業 科 目	受入れ 可能人数	必 選	単位 数	開講期間 （1週当りのコマ数）			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
基礎 科目	500	スポーツ科学総論A（文化社会科学・医科学）		○	2	1				実 践 ス ポ ー ツ 科 学	500	実践スポーツ科学特論A（身体教育）		×	2	1			
	500	スポーツ科学総論B（実践スポーツ科学）		○	2			1			500	実践スポーツ科学特論B（健康教育）		×	2	1			
研究 法	600	体育・スポーツ科学研究法A		○	2	1					500	実践スポーツ科学特論C（コーチング）		×	2	1			
	600	体育・スポーツ科学研究法B		○	2			1			500	実践スポーツ科学特論D（心理サポート）		×	2			1	
ス ポ ー ツ 文 化 社 会 科 学	500	スポーツ文化社会科学特論A(哲学)		×	2	1					500	実践スポーツ科学特論E（武道）		×	2			1	
	500	スポーツ文化社会科学特論B(歴史学)		×	2	1					500	実践スポーツ科学特論F（アダプテッド）		×	2			1	
	500	スポーツ文化社会科学特論C(社会学)		×	2			1			500	実践スポーツ科学特論G（ウエルネス）		×	2	1			
	500	スポーツ文化社会科学特論D(心理学)		×	2			1			500	実践スポーツ科学特論H（マネジメント）		×	2			1	
	500	スポーツ文化社会科学特論E（政策）		×	2			1			500	実践スポーツ科学特論I（レジャー）		×	2	1			
	600	スポーツ文化社会科学演習A		×	2			1			600	実践スポーツ科学演習A		×	2			1	
	600	スポーツ文化社会科学演習B		×	2	1					600	実践スポーツ科学演習B		×	2	1			
											600	実践スポーツ科学演習C		×	2			1	
ス ポ ー ツ 医 科 学	500	スポーツ医科学特論A（生理学）		×	2			1		研 究 ゼ ミ ナ ー ル	700	体育学研究1		○	2	1			
	500	スポーツ医科学特論B（バイオメカニクス）		×	2			1			700	体育学研究2		○	2			1	
	500	スポーツ医科学特論C(医学)		×	2	1					700	体育学研究3		○	2	1			
	500	スポーツ医科学特論D(体力学)		×	2	1					700	体育学研究4		○	2			1	
	600	スポーツ医科学演習A		×	2	1													
	600	スポーツ医科学演習B		×	2			1											

2022年度カリキュラム表

■ 体育学専攻（～21カリ）
（博士課程前期）

[illegible]

■ 体育学専攻（22カリ～）
（博士課程前期）

分野・領域	ナンバード	授 業 科 目	受入れ 可能人数	必 選	単位 数	開講期間 （1週当りのコマ数）				分野・領域	ナンバード	授 業 科 目	受入れ 可能人数	必 選	単位 数	開講期間 （1週当りのコマ数）			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
基礎 科目	500	スポーツ科学総論A（文化社会科学・医科学）		○	2	1				実 践 ス ポ ー ツ 科 学	500	実践スポーツ科学特論A（身体教育）		×	2	1			
	500	スポーツ科学総論B（実践スポーツ科学）		○	2			1			500	実践スポーツ科学特論B（健康教育）		×	2	1			
研究 法	600	体育・スポーツ科学研究法A		○	2	1					500	実践スポーツ科学特論C（コーチング）		×	2	1			
	600	体育・スポーツ科学研究法B		○	2			1			500	実践スポーツ科学特論D（心理サポート）		×	2			1	
ス ポ ー ツ 文 化 社 会 科 学	500	スポーツ文化社会科学特論A(哲学)		×	2	1					500	実践スポーツ科学特論E（武道）		×	2			1	
	500	スポーツ文化社会科学特論B(歴史学)		×	2	1					500	実践スポーツ科学特論F（アダプテッド）		×	2			1	
	500	スポーツ文化社会科学特論C(社会学)		×	2			1			500	実践スポーツ科学特論G（ウエルネス）		×	2	1			
	500	スポーツ文化社会科学特論D(心理学)		×	2			1			500	実践スポーツ科学特論H（マネジメント）		×	2			1	
	500	スポーツ文化社会科学特論E（政策）		×	2			1			500	実践スポーツ科学特論I（レジャー）		×	2	1			
	600	スポーツ文化社会科学演習A		×	2			1			600	実践スポーツ科学演習A		×	2			1	
	600	スポーツ文化社会科学演習B		×	2	1					600	実践スポーツ科学演習B		×	2	1			
											600	実践スポーツ科学演習C		×	2			1	
ス ポ ー ツ 医 科 学	500	スポーツ医科学特論A（生理学）		×	2			1		研 究 ゼ ミ ナ ー ル	600	実践スポーツ科学演習D		×	2	1			
	500	スポーツ医科学特論B（バイオメカニクス）		×	2			1			700	体育学研究1		○	2	1			
	500	スポーツ医科学特論C(医学)		×	2	1					700	体育学研究2		○	2			1	
	500	スポーツ医科学特論D(体力学)		×	2	1					700	体育学研究3		○	2	1			
	600	スポーツ医科学演習A		×	2	1					700	体育学研究4		○	2			1	
	600	スポーツ医科学演習B		×	2			1											

2022年度カリキュラム表

■ 体育学専攻 (博士課程後期)

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当たりのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
共通	800	スポーツ科学研究理論		○	2	1			
	800	スポーツ科学研究法A		×	2			1	
	800	スポーツ科学研究法B		×	2			1	
専門	800	高度スポーツ文化社会科学特講		×	2	1			
	800	高度スポーツ医科学特講		×	2	1			
	800	高度実践スポーツ科学特講		×	2	1			
	800	高度スポーツ文化社会科学演習		×	2			1	
	800	高度スポーツ医科学演習		×	2			1	
	800	高度実践スポーツ科学演習		×	2			1	
特別研究	800	体育・スポーツ科学特別研究1		○	2	1			
	800	体育・スポーツ科学特別研究2		○	2			1	
	800	体育・スポーツ科学特別研究3		○	2	1			
	800	体育・スポーツ科学特別研究4		○	2			1	

理 学 研 究 科

2022年度カリキュラム表

■ 数理科学専攻(数学コース)

(修士課程)

修士課程の修了要件は次のすべてを満たすこと。

- (1) 「数理研究ゼミナール1、2」(必修8単位)、および数学コースの「……学A、B、C、D」(必修8単位)の計16単位を修得すること。
- (2) 数理科学専攻共通の「……学通論」(選択)および数学コースのグレードナンバー600番の科目(選択)から選択した14単位以上を修得すること。ただし、情報数理学コースのグレードナンバー600番の科目(選択)のうち8単位を限度として数学コースの修了要件として認める。
- (3) 修士論文を提出して審査に合格すること。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
ゼミナール科目	700	代数学A		×	2	1				代数学	600	代数学特論A		×	2	1			
	700	代数学B		×	2	1					600	代数学特論B		×	2			1	
	700	代数学C		×	2			1			600	代数学特論C		×	2	1			
	700	代数学D		×	2			1			600	代数学特論D		×	2			1	
	700	幾何学A		×	2	1				幾何学	600	幾何学特論A		×	2	1			
	700	幾何学B		×	2	1					600	幾何学特論B		×	2			1	
	700	幾何学C		×	2			1			600	幾何学特論C		×	2	1			
	700	幾何学D		×	2			1			600	幾何学特論D		×	2			1	
	700	解析学A		×	2	1				解析学	600	解析学特論A		×	2	1			
	700	解析学B		×	2	1					600	解析学特論B		×	2			1	
	700	解析学C		×	2			1			600	解析学特論C		×	2	1			
	700	解析学D		×	2			1			600	解析学特論D		×	2			1	
	700	統計数学A		×	2	1				統計数学	600	統計数学特論A		×	2	1			
	700	統計数学B		×	2	1					600	統計数学特論B		×	2			1	
	700	統計数学C		×	2			1			600	統計数学特論C		×	2	1			
	700	統計数学D		×	2			1			600	統計数学特論D		×	2			1	
	700	応用数理学A		×	2	1				応用数理学	600	応用数理学特論A		×	2	1			
	700	応用数理学B		×	2	1					600	応用数理学特論B		×	2			1	
	700	応用数理学C		×	2			1			600	応用数理学特論C		×	2	1			
	700	応用数理学D		×	2			1			600	応用数理学特論D		×	2			1	
700	数理研究ゼミナール1		○	4	2				数学教育科目	600	教育数学特論A		×	2	1				
700	数理研究ゼミナール2		○	4			2			600	教育数学特論B		×	2			1		
教養科目	500	代数学通論		×	2	1				600	教育数学特論C		×	2	1				
	500	幾何学通論		×	2	1					600	教育数学特論D		×	2			1	
	500	解析学通論		×	2	1													
	500	統計数学通論		×	2			1											
	500	情報数理学通論		×	2			1											
	500	応用数理学通論		×	2			1											

2022年度カリキュラム表

■ 数理科学専攻(情報数理学コース)

(修士課程)

修士課程の修了要件は次のすべてを満たすこと。

- (1) 「数理研究ゼミナール1、2」(必修8単位)、および情報数学コースの「……学A、B、C、D」(必修8単位)または「幾何とそのアルゴリズムA、B、C、D」(必修8単位)の計16単位を修得すること。
- (2) 情報科学専攻共通の「……学通論」(選択)および情報数学コースのグレードナンバー600番の科目(選択)から選択した14単位以上を修得すること。ただし、数学コースのグレードナンバー600番の科目(選択)のうち8単位を限度として情報数学コースの修了要件として認める。
- (3) 修士論文を提出して審査に合格すること。

分野・領域	ナグ レ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科 目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ レ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科 目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
ゼミナール科目	700	情報代数学A		×	2	1				情報代数学	600	情報代数学特論A		×	2	1			
	700	情報代数学B		×	2	1					600	情報代数学特論B		×	2			1	
	700	情報代数学C		×	2			1			600	情報代数学特論C		×	2	1			
	700	情報代数学D		×	2			1			600	情報代数学特論D		×	2			1	
	700	幾何とそのアルゴリズムA		×	2	1				幾何とそのアルゴリズム	600	幾何とそのアルゴリズム特論A		×	2	1			
	700	幾何とそのアルゴリズムB		×	2	1					600	幾何とそのアルゴリズム特論B		×	2			1	
	700	幾何とそのアルゴリズムC		×	2			1			600	幾何とそのアルゴリズム特論C		×	2	1			
	700	幾何とそのアルゴリズムD		×	2			1			600	幾何とそのアルゴリズム特論D		×	2			1	
	700	応用解析学A		×	2	1				応用解析学	600	応用解析学特論A		×	2	1			
	700	応用解析学B		×	2	1					600	応用解析学特論B		×	2			1	
	700	応用解析学C		×	2			1			600	応用解析学特論C		×	2	1			
	700	応用解析学D		×	2			1			600	応用解析学特論D		×	2			1	
	700	応用確率・統計学A		×	2	1				応用確率・統計学	600	応用確率・統計学特論A		×	2	1			
	700	応用確率・統計学B		×	2	1					600	応用確率・統計学特論B		×	2			1	
	700	応用確率・統計学C		×	2			1			600	応用確率・統計学特論C		×	2	1			
	700	応用確率・統計学D		×	2			1			600	応用確率・統計学特論D		×	2			1	
	700	情報数理学A		×	2	1				情報数理学	600	情報数理学特論A		×	2	1			
	700	情報数理学B		×	2	1					600	情報数理学特論B		×	2			1	
	700	情報数理学C		×	2			1			600	情報数理学特論C		×	2	1			
	700	情報数理学D		×	2			1			600	情報数理学特論D		×	2			1	
700	離散数学A		×	2	1				離散数学	600	離散数学特論A		×	2	1				
700	離散数学B		×	2	1					600	離散数学特論B		×	2			1		
700	離散数学C		×	2			1			600	離散数学特論C		×	2	1				
700	離散数学D		×	2			1			600	離散数学特論D		×	2			1		
700	数理研究ゼミナール1		○	4	2				数学教育科目	600	教育数学特論A		×	2	1				
700	数理研究ゼミナール2		○	4			2			600	教育数学特論B		×	2			1		
教養科目	500	代数学通論		×	2	1				数学教育科目	600	教育数学特論C		×	2	1			
	500	幾何学通論		×	2	1					600	教育数学特論D		×	2			1	
	500	解析学通論		×	2	1													
	500	統計数学通論		×	2			1											
	500	情報数理学通論		×	2			1											
	500	応用数理学通論		×	2			1											

2022年度カリキュラム表

■ 物理学専攻

(修士課程)

「物理学研究ゼミナールA、B、C、D」計16単位を必修とし、併せて30単位以上を取得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

2022年度カリキュラム表

■ 化学専攻

(修士課程)

「化学研究ゼミナールA、B、Cの各－1、－2」計12単位を必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

工 学 研 究 科

■ 電気電子工学専攻

(修士課程)

必修基礎科目及び自己開拓科目16単位、領域共通発展科目及び領域別発展科目から20単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

[illegible]

2022年度カリキュラム表

■ 応用理化学専攻

(修士課程)

必修基礎科目及び自己開拓科目16単位、領域共通発展科目及び領域別発展科目から20単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

専 攻 科 目																			
分野・領域	ナグ ンレ バード	授 業 科 目	受け入れ 可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ンレ バード	授 業 科 目	受け入れ 可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
必修 基盤 科目	500	工学倫理知財特論		○	2	1				(生命化学 領域別 発展科目)	600	糖鎖工学特論		×	2	1			
	500	TECHNICAL ENGLISH FOR ENGINEERS		○	2	1					600	細胞工学特論		×	2			1	
	500	理化学基礎特論 1		○	2	1					600	免疫生化学特論		×	2	1			
	500	理化学基礎特論 2		○	2			1			600	生体物質生化学特論		×	2			1	
領域 共通 発展 科目	600	量子物理学特論		×	2	1				(生命化学 領域別 発展科目)	600	分子生物学特論		×	2	1			
	600	プラズマ・エネルギー 科学特論		×	2			1			600	遺伝子工学特論		×	2			1	
	600	エネルギー変換科学特論		×	2			1			600	生命有機化学特論		×	2	1			
	600	コンピュータ化学演習		×	2	1					600	医薬品化学特論		×	2			1	
	600	環境工学特論		×	2			1		(応用化学 領域別 発展科目)	600	物質化学特論		×	2	1			
	600	有機化学特論		×	2	1					600	元素化学特論		×	2			1	
	600	無機化学特論		×	2	1					600	電子化学特論		×	2	1			
	600	物理化学特論		×	2			1			600	化学熱力学特論		×	2			1	
	600	化学工学特論		×	2			1			600	反応工学特論		×	2	1			
	600	生命化学特論		×	2			1			600	有機反応化学特論		×	2			1	
	600	資源・エネルギー特論		×	2	1					600	天然物化学特論		×	2			1	
	600	機器分析特論		×	2			1			600	物性化学特論		×	2			1	
	600	材料物性基礎特論		×	2	1				(金属材料 工学 領域別 発展科目)	600	高分子化学特論		×	2	1			
	600	材料科学基礎特論		×	2	1					600	無機合成化学特論		×	2	1			
	600	材料加工学基礎特論		×	2			1			600	材料物理化学特論		×	2	1			
	600	ENGLISH PRESENTATION FOR ENGINEERS		×	2			1			600	材料物性応用特論		×	2			1	
600	原子力熱化学工学特論		×	2	1				600		材料プロセス工学特論		×	2	1				
600	環境解析科学特論		×	2	1				600		接合科学特論		×	2	1				
600	放射線計測学特論		×	2	1				600		材料強度学特論		×	2			1		
600	新エネルギー特論		×	2	1				600		機能材料学特論		×	2	1				
(領域別 工学 発展 科目)	600	応用放射線科学特論		×	2	1				(自己開 拓科目)	600	電気材料学特論		×	2	1			
	600	原子力エネルギー特論		×	2	1					600	鉄鋼材料学特論		×	2			1	
	600	原子力インテ ーシング		×	2	1					600	材料加工学応用特論		×	2			1	
	600	原子炉物理学特論		×	2			1			600	セラミックス材料学特論		×	2			1	
	600	核放射化学特論		×	2			1		700	応用理化学研究ゼミナ ル 1		○	2	1				
	600	放射線生物科学特論		×	2			1		700	応用理化学研究ゼミナ ル 2		○	2			1		
	600	エネルギー材料物理学特論		×	2			1		700	応用理化学研究ゼミナ ル 3		○	2	1				
	600	原子力工学専門講義		×	2			1		700	応用理化学研究ゼミナ ル 4		○	2			1		

(修士課程)

必修基礎科目及び自己開拓科目14単位、領域共通発展科目及び領域別発展科目から22単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

専 攻 科 目																
分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)		分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	受け入れ 可能人数	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)		
						春 学 期	秋 学 期							春 学 期	秋 学 期	
必 修 基 盤	300	工学倫理知財特論		○	2	1		領 域 別 発 展 科 目 (建 築 学)	600	シェル・空間構造計画特論		×	2	1		
	300	TECHNICAL ENGLISH FOR ENGINEERS		○	2	1			600	シェル・空間構造設計特論		×	2		1	
	500	建設マネジメント特論		○	2	1			600	建築構造設計特論・同演習		×	4	2		
領 域 共 通 発 展 科 目		ENGLISH PRESENTATION FOR ENGINEERS		×	2		1		600	建築構造解析特論・同演習		×	4		2	
	600	建築非構造材料特論・同演習		×	4	2			600	先端建築構造技術		×	2	1		
	600	建築構造材料特別演習		×	2		1		600	建築構造材料特論		×	2	1		
	600	建築基礎設計特論・同演習		×	4	2			600	建築温熱環境計画特論		×	2	1		
	600	建築空間計画特論		×	2		1		600	建築視環境計画特論		×	2	1		
	600	建築家職能特論		×	2	1			600	建築設備システム設計特論・同演習		×	4	2		
	600	材料科学特論		×	2	1			600	建築パッシブシステム計画特論		×	2		1	
	600	コンクリート工学特論		×	2	1			600	空調システム計画特論		×	2		1	
	600	土質工学特論・同演習		×	4	2			600	建築室内環境計画特論・同演習		×	4		2	
	600	水環境学特論		×	2		1		600	居住環境計画特論		×	2	1		
	600	都市および地域計画特論		×	2	1			600	建築計画特論1・同演習		×	4	2		
	600	都市開発システム特論		×	2		1		600	建築計画特論2・同演習		×	4		2	
	600	都市マスタープラン特論		×	2	1			600	史的空間計画特論		×	2	1		
									600	建築保存・修復計画特論		×	2		1	
									600	建築施設計画特論		×	2		1	
領 域 別 発 展 科 目 (土 木 工 学)	600	応用力学特論・同演習		×	4	2			600	建築設計スタジオ1		×	4	2		
	600	計算工学特論		×	2		1		600	建築設計スタジオ2		×	4		2	
	600	連続体力学特論		×	2	1			600	建築設計スタジオ3		×	4	2		
	600	応用力学特論・同演習		×	4	2			600	建築インテグレーション1		×	4		54	
	600	衛生工学特論		×	2	1			600	建築インテグレーション2		×	4		54	
	600	施工技術特論		×	2	1			600	建築インテグレーション3		×	4		54	
	600	統計学特論		×	2		1		600	建築インテグレーション4		×	4		54	
	600	構造工学特論		×	2		1	600	建築インテグレーション5		×	2		27		
	600	構造振動学特論		×	2		1	600	建築インテグレーション6		×	2		27		
	600	コンクリート構造工学特論		×	2		1	700	建築土木工学研究ゼミナール1		○	2	1			
	600	維持・補修工学特論		×	2		1	700	建築土木工学研究ゼミナール2		○	2		1		
	600	地下水工学特論		×	2		1	700	建築土木工学研究ゼミナール3		○	2	1			
	600	環境地盤工学特論		×	2		1	700	建築土木工学研究ゼミナール4		○	2		1		
	600	海岸理学特論		×	2		1									
								自己開 拓科目								

2022年度カリキュラム表

■ 機械工学専攻

(修士課程)

必修基盤科目及び自己開拓科目16単位、領域共通発展科目及び領域別発展科目から20単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

専 攻 科 目																			
分野・領域	ナグ レ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ レ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
必修 科目 基盤	500	工学倫理知財特論		○	2	1				(材料工 学・加 工工学 領域)	600	精密加工工学特論		×	2	1			
		TECHNICAL ENGLISH		○	2	1					600	マイクロマシン特論		×	2			1	
	500	FOR ENGINEERS		○	2	1					600	塑性力学特論		×	2	1			
	500	機械工学特論A		○	2	1					600	生体区工学特論		×	2			1	
	500	機械工学特論B		○	2		1				600	設計工学特論		×	2	1			
領域 共通 発展 科目	600	流体力学特論		×	2	1				(機械力 学・別 発展科 目領域)	600	構造力学特論		×	2			1	
	600	熱工学特論		×	2		1				600	車両工学特論		×	2	1			
	600	機械材料科学特論		×	2	1					600	トライボロジー特論		×	2			1	
	600	機械加工工学特論		×	2		1				600	モーションコントロール特論		×	2	1			
	600	統計学特論		×	2	1					600	メカトロニクス特論		×	2			1	
	600	ENGLISH PRESENTATION		×	2		1			600	マルチボディダイナミクス特論		×	2	1				
	600	FOR ENGINEERS		×	2			1		600	ロボット工学特論		×	2			1		
	600	材料力学特論		×	2		1			600	機械音響学特論		×	2			1		
	600	機械力学特論		×	2		1			600	機械振動学特論		×	2			1		
	600	システム制御工学特論		×	2	1			(航空城 宇別 発展科 目領域)	600	地球磁気圏科学特論		×	2	1				
	600	宇宙計測学特論		×	2		1				600	宇宙電磁力学特論		×	2			1	
	600	航空宇宙先端科学技術特論		×	2		1				600	電気推進工学特論		×	2	1			
	600	有限要素法特論		×	2		1				600	ロケット推進工学特論		×	2			1	
	600	プラズマ理工学特論		×	2		1				600	飛行力学特論		×	2	1			
	600	応用数学特論		×	2		1			600	宇宙探査工学特論		×	2			1		
	(熱工 学・流 体工学 領域)	600	エネルギーシステム工学特論		×	2	1			(熱工 学・流 体工学 領域)	600	宇宙システム工学特論		×	2			1	
		600	燃料電池工学特論		×	2		1			600	宇宙構造物工学		×	2			1	
600		燃焼工学特論		×	2	1			600		航空飛行工学特論		×	2			1		
600		エンジンシステム特論		×	2		1												
600		圧縮性流体力学特論		×	2	1													
600		非圧縮性流体の数値解析特論		×	2		1		自己開 拓科目	700	機械工学研究ゼミナール1		○	2	1				
600		圧縮性流体の数値解析特論		×	2		1			700	機械工学研究ゼミナール2		○	2			1		
600		エアロダイナミクス特論		×	2		1			700	機械工学研究ゼミナール3		○	2	1				
600				×	2		1			700	機械工学研究ゼミナール4		○	2			1		
600				×	2		1												

2022年度カリキュラム表

■ 医用生体工学専攻

(修士課程)

必修基盤科目及び自己開拓科目の16単位と、領域共通発展科目及び領域別発展科目から20単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

専 攻 科 目									
分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春学期	集中	秋学期	集中
必修 基盤	500	生体工学特論		○	2	1			
	500	生体システム特論		○	2	1			
	500	工学倫理知財特論		○	2			1	
	500	TECHNICAL ENGLISH FOR ENGINEERS		○	2	1			
領域 共通	600	臨床工学特論		×	2	1			
	600	ENGLISH PRESENTATION FOR ENGINEERS		×	2			1	
	600	臨床工学インターンシップ1		×	2	2			
	600	臨床工学インターンシップ2		×	2			2	
(領域別 発展科目)	600	生体情報科学特論		×	2	1			
	600	医用電子工学特論		×	2			1	
	600	生体材料科学特論		×	2	1			
	600	生体計測科学特論		×	2			1	
	600	生体機械工学特論		×	2	1			
	600	医用画像工学特論		×	2			1	
	600	放射線医学特論		×	2			1	
	600	生体制御工学特論		×	2			1	
(臨床系 領域別 発展科目)	600	呼吸循環系医工学特論		×	2	1			
	600	臨床薬理学特論		×	2			1	
	600	リハビリテーション科学特論		×	2	1			
自己 開 拓 科 目	700	医用生体工学研究ゼミナール1		○	2	1			
	700	医用生体工学研究ゼミナール2		○	2			1	
	700	医用生体工学研究ゼミナール3		○	2	1			
	700	医用生体工学研究ゼミナール4		○	2			1	

海 洋 学 研 究 科

2022年度カリキュラム表

■ 海洋学専攻
(修士課程)

総合海洋学科目群より必修科目「総合海洋学特論」を含め10単位以上およびすべての科目群の選択科目より14単位以上、必修科目「海洋学研究ゼミナール1」～「海洋学研究ゼミナール4」の8単位、合計32単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

専 攻 科 目																			
分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
総合海洋学 科目群	500	総合海洋学特論		○	2	1		1		海洋生命圏 分野科目群	600	分子細胞生物学特論		×	2	1		1	
	500	沿岸環境特論		×	2	1					600	海洋生物化学特論		×	2	1		1	
	500	気候変動特論		×	2	1					600	水族生理学特論		×	2			1	
	500	海洋生態学特論		×	2			1			600	浮遊生物学特論		×	2	1			
	500	海洋総合管理特論		×	2	1					600	底生生物学特論		×	2	1			
	500	水産学特論		×	2	1					600	海棲哺乳類学特論		×	2			1	
	500	海洋資源特論		×	2	1					600	魚類学特論		×	2	1			
	500	海洋科学技術研究特論		×	2			14			600	資源生物学特論		×	2			1	
	500	環境生命科学研究特論		×	1				7		600	水産増殖学特論		×	2	1		1	
	500	アカデミックイングリッシュ		×	2	1		1			600	水産食品科学特論		×	2			1	
	500	海洋学特論A		×	1		7			海洋地球圏 分野科目群	600	大気・海洋物理学特論		×	2			1	
	500	海洋学特論B		×	1		7				600	地球化学特論		×	2			1	
	500	海洋学特論C		×	1				7		600	低次生産環境特論		×	2	1		1	
	500	海洋学特論D		×	1				7		600	固体地球物理学特論		×	2			1	
海洋人間圏 分野科目群	600	海洋人類学特論		×	2	1				研究ゼミナール	600	海底資源開発工学特論		×	2			1	
	600	海洋ガバナンス特論		×	2	1					600	海洋エネルギー工学特論		×	2			1	
	600	海洋資源管理特論		×	2			1			600	沿岸域工学特論		×	2			1	
	600	環境・開発経済特論		×	2			1						○	2	1		1	
	600	ロジスティクス特論		×	2			1					○	2	1		1		
	600	沿岸域管理特論		×	2	1							○	2	1		1		
	600	水産社会特論		×	2	1							○	2	1		1		

総合海洋学特論は1年次春セメに履修することが望ましい。

健 康 科 学 研 究 科

2022年度カリキュラム表

■ 看護学専攻(研究コース)

(修士課程)

必修科目4単位(看護理論と研究方法概論)、コース必修科目14単位(国際看護論、看護倫理、質的研究方法論、量的研究方法論、研究ゼミナール1、研究ゼミナール2、研究ゼミナール3)、および4領域(看護基礎科学、臨床実践看護学、看護管理学、産業・地域保健看護学)のうち主とする領域の科目群の中から2科目4単位以上、更にすべての領域科目および選択科目より8単位以上、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終判定に合格することとする。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春学期	集中	秋学期	集中
必修	500	看護理論		○	2	1			
	500	研究方法概論		○	2	1			
コース必修	600	国際看護論		×	2	1		1	
	600	看護倫理	1	×	2	1			
	600	質的研究方法論		×	2			1	
	600	量的研究方法論		×	2	1			
	700	研究ゼミナール1		×	2			1	
	700	研究ゼミナール2		×	2	1			
	700	研究ゼミナール3		×	2			1	
看護基礎科学	600	基礎看護学特論1		×	2	1			
	600	基礎看護学特論2		×	2			1	
	600	生命科学特論		×	2	1			
	600	生命科学演習		×	2			1	
臨床実践看護学	600	老年看護学特論		×	2	1			
	600	在宅看護学特論		×	2			1	
	600	精神看護学特論		×	2	1			
	600	母性看護学特論		×	2	1			
	600	小児看護学特論	1	×	2	1			
	600	家族看護学特論	1	×	2	1			
	600	家族援助特論		×	2			1	
	600	遺伝看護学特論		×	2	1			
	600	遺伝看護学援助特論		×	2	1			
	600	クリティカルケア看護学特論		×	2	1			
	600	クリティカルケア看護学アセスメント 援助論		×	2	1			
	600	がん看護学特論		×	2	1			
	600	がん看護学援助論		×	2	1			
看護管理学	600	看護管理論	1	×	2			1	
	600	看護管理学特論		×	2			1	
産業・地域保健看護学	600	産業・地域保健看護学特論1		×	2	1			
	600	産業・地域保健看護学特論2		×	2			1	
	600	保健科学特論		×	2	1			
	600	健康環境学特論	1	×	2			1	
選択	600	国際看護演習		×	2			1	
	600	看護教育論	1	×	2			1	
	600	コンサルテーション論		×	2			1	
	600	遺伝生命科学		×	2	1			
	600	感染看護学		×	2			1	
	600	臨床薬理学特論		×	2			1	
	600	フィジカルアセスメント特論		×	2	1			
	600	臨床病態生理学特論		×	2			1	

■ 看護学専攻(CNSコース)

(修士課程)

CNSコース

必修科目4単位(看護理論と研究方法概論)およびコース必修科目10単位(臨床薬理学特論、フィジカルアセスメント特論、臨床病態生理学特論、看護研究1、看護研究2)、計14単位を修得し、選択必修科目(看護教育論、看護管理論、コンサルテーション論及び看護倫理)から4単位、各専門領域の科目群の講義・演習科目12単位を修得し、以上の修得単位数が計30単位以上で且つ、修士論文の審査並びに最終判定に合格することとする。

なお、専門看護師(CNS)受験資格取得のためには、上記に加えて、各専門領域の科目群の講義・演習科目2単位および実習科目10単位、計12単位以上の修得が必要である。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春学期	集中	秋学期	集中
必修	500	看護理論		○	2	1			
	500	研究方法概論		○	2	1			
必修 コース	600	臨床薬理学特論		×	2				1
	600	フィジカルアセスメント特論		×	2	1			
	600	臨床病態生理学特論		×	2				1
	700	看護研究1		×	2	1		1	
	700	看護研究2		×	2	1		1	
必修 選択	600	看護教育論	1	×	2			1	
	600	看護管理論	1	×	2			1	
	600	コンサルテーション論		×	2			1	
	600	看護倫理	1	×	2	1			

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春学期	集中	秋学期	集中
家族看護学	600	家族看護学特論	1	×	2	1			
	600	家族健康論1		×	2	1			
	600	家族健康論2		×	2			1	
	600	家族援助論1		×	2	1			
	600	家族援助論2		×	2			1	
	600	家族援助特論		×	2			1	
	600	家族看護学演習		×	2			1	
	600	家族看護学実習1		×	2		30		30
	600	家族看護学実習2		×	6		30		30
	600	家族看護学実習3		×	2		30		30
遺伝看護学	600	遺伝看護学特論		×	2	1			
	600	遺伝看護援助特論		×	2	1			
	600	遺伝基礎科学1		×	2	1			
	600	遺伝基礎科学2		×	2			1	
	600	遺伝看護援助論A		×	2			1	
	600	遺伝看護援助論B		×	2			1	
	600	遺伝カウンセリング特論		×	2	1			
	600	遺伝看護学実習1		×	2		30		30
	600	遺伝看護学実習2		×	4		60		60
	600	遺伝看護学実習3		×	4		60		60

クリ ティ カル ケア 看護 学	600	クリティカルケア看護学特論	×	2	1			
	600	クリティカルケア看護援助論A	×	2	1			
	600	クリティカルケア看護援助論B	×	2			1	
	600	クリティカルケア看護援助演習A	×	2	1			
	600	クリティカルケア看護援助演習B	×	2			1	
	600	クリティカルケア看護学デヒメント・援助論	×	2	1			
	600	クリティカル緩和ケア論	×	2			1	
	600	クリティカルケア看護学実習1	×	3		45		45
	600	クリティカルケア看護学実習2	×	3		45		45
	600	クリティカルケア看護学実習3	×	4		60		60
がん 看護 学	600	がん病態生理学特論	×	2	1			
	600	がん看護学特論	×	2	1			
	600	がん看護援助論	×	2	1			
	600	がん看護学演習1	×	2	1			
	600	がん看護学演習2	×	2			1	
	600	がん緩和ケア論	×	2			1	
	600	がん緩和ケア演習	×	2			1	
	600	がん看護学実習1	×	2		30		30
	600	がん看護学実習2	×	4		60		60
	600	がん看護学実習3	×	4		60		60
選択	600	精神看護学特論	×	2	1			

2022年度カリキュラム表

■ 保健福祉学専攻

(修士課程)

「基礎科目」8単位および研究指導教員が担当する「ゼミナール科目」8単位を必修、「専門科目（社会的健康領域）」より8単位を選択必修とする。その他に、「専門科目（社会的健康領域）」、「専門科目（精神・身体的健康領域）」、「フィールドワーク科目」より6単位以上、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査ならびに最終試験に合格すること。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある 場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春学期	集中	秋学期	集中
基礎科目	500	健康学研究概論1		○	2	1			
	500	健康学研究概論2		○	2			1	
	500	量的研究法		○	2	1			
	500	質的研究法		○	2			1	
(社会的健康領域) 専門科目	500	健康社会特論		×	2	1			
	500	健康社会政策特論		×	2			1	
	500	地域健康政策特論		×	2	1			
	500	ソーシャルワーク特論		×	2	1			
	500	地域福祉特論		×	2	1			
	500	子ども家庭福祉特論		×	2	1			
	500	高齢者福祉特論		×	2	1			
(精神・身体的健康領域) 専門科目	500	介護福祉特論		×	2			1	
	500	精神保健福祉特論		×	2			1	
	500	障害者心理学特論		×	2	1			
	500	健康情報解析法特論		×	2			1	
	500	健康栄養マネジメント特論		×	2	1			
	500	応用健康科学特論		×	2			1	
	500	健康運動心理学特論		×	2			1	
ゼミナール科目	700	トレーニング科学特論		×	2			1	
	700	健康学研究1		○	2	1			
	700	健康学研究2		○	2			1	
	700	健康学研究3		○	2	1			
ド フ ィ ー ド ワ ー ク 目 的 的 科 目	700	健康学研究4		○	2			1	
	700	フィールドワーク実習A		×	1		14		
	700	フィールドワーク実習B		×	1				14

カレッジ毎担当研究科一覧表

カレッジ名	担当研究科
ヒューマンソサエティカレッジオフィス	文学研究科
エンジニアリングカレッジオフィス	工学研究科
サイエンステクノロジーカレッジオフィス	理学研究科
ウェルネスカレッジオフィス	体育学研究科、健康科学研究科（保健福祉学専攻）
リベラルエデュケーションカレッジオフィス	人間環境学研究科、芸術学研究科
メディカルサイエンスカレッジオフィス	健康科学研究科（看護学専攻）、医学研究科
グローバルシチズンカレッジオフィス	政治学研究科、経済学研究科、法学研究科
スルガベिकाレッジ静岡オフィス	海洋学研究科